

Mat

Chapter 10

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

- 1 Καὶ προσκαλεσάμενος τοὺς δώδεκα μαθητὰς αὐτοῦ, ἔδωκεν αὐτοῖς
そして 呼び-寄せて (冠詞) 十二-人の 弟子たちを 彼の 与えられた 彼らに
[G2532](#) [G4341](#) [G3588](#) [G1427](#) [G3101](#) [G0846](#) [G1325](#) [G0846](#)
- ἐξουσίαν πνευμάτων ἀκαθάρτων, ὥστε ἐκβάλλειν αὐτὰ, καὶ θεραπεύειν
権威を 霊の 汚れた ~ほどに 追い出す それらを また いやす
[G1849](#) [G4151](#) [G0169](#) [G5620](#) [G1544](#) [G0846](#) [G2532](#) [G2323](#)
- πᾶσαν νόσον καὶ πᾶσαν μαλακίαν.
あらゆる 病気と また あらゆる 弱さを
[G3956](#) [G3554](#) [G2532](#) [G3956](#) [G3119](#)

そこで、イエスは十二弟子を呼び寄せて、汚れた霊を追い出し、あらゆる病気、あらゆるわずらいをいやす権威をお授けになった。

- 2 Τῶν δὲ δώδεκα ἀποστόλων τὰ ὀνόματά ἐστιν ταῦτα: πρῶτος
(冠詞) さて 十二-人の 使徒たちの (冠詞) 名前は である これらである 第一に
[G3588](#) [G1161](#) [G1427](#) [G0652](#) [G3588](#) [G3686](#) [G1510](#) [G3778](#) [G4413](#)
- Σίμων, ὁ λεγόμενος Πέτρος, καὶ Ἄνδρέας, ὁ ἀδελφὸς αὐτοῦ; καὶ
シモン (冠詞) 呼ばれる ペテロ また アンデレ (冠詞) 兄弟 彼の また
[G4613](#) [G3588](#) [G3004](#) [G4074](#) [G2532](#) [G0406](#) [G3588](#) [G0080](#) [G0846](#) [G2532](#)
- Ἰάκωβος ὁ τοῦ Ζεβεδαίου, καὶ Ἰωάννης ὁ ἀδελφὸς αὐτοῦ;
ヤコブ (冠詞) (冠詞) ゼベダイの また ヨハネ (冠詞) 兄弟 彼の
[G2385](#) [G3588](#) [G3588](#) [G2199](#) [G2532](#) [G2491](#) [G3588](#) [G0080](#) [G0846](#)

十二使徒の名は、次のとおりである。まずペテロと呼ばれたシモンとその兄弟アンデレ、それからゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネ、

- 3 Φίλιππος, καὶ Βαρθολομαῖος; Θωμᾶς, καὶ Μαθθαῖος ὁ τελώνης; Ἰάκωβος
ピリポ また バルトロマイ トマス また マタイ (冠詞) 収税人 ヤコブ
[G5376](#) [G2532](#) [G0918](#) [G2381](#) [G2532](#) [G3156](#) [G3588](#) [G5057](#) [G2385](#)
- ὁ τοῦ Ἀλφαίου, καὶ Θαδδαῖος;
(冠詞) (冠詞) アルパヨの また タダイ
[G3588](#) [G3588](#) [G0256](#) [G2532](#) [G2280](#)

ピリポとバルトロマイ、トマスと取税人マタイ、アルパヨの子ヤコブとタダイ、

- 4 Σίμων ὁ Καναναῖος, καὶ Ἰούδας ὁ Ἰσκαριώτης, ὁ καὶ
シモン (冠詞) カナン人の また ユダ (冠詞) イスカリオテの (冠詞) また
[G4613](#) [G3588](#) [G2581](#) [G2532](#) [G2455](#) [G3588](#) [G2469](#) [G3588](#) [G2532](#)
- παραδοῦς αὐτόν.
裏切った 彼を
[G3860](#) [G0846](#)

熱心党のシモンとイスカリオテのユダ。このユダはイエスを裏切った者である。

5 Τούτους τοὺς δώδεκα ἀπέστειλεν ὁ Ἰησοῦς, παραγγείλας αὐτοῖς, λέγων,
これらの (冠詞) 十二-人を 遣わされた (冠詞) イエスは 命じて 彼らに 言って
[G3778](#) [G3588](#) [G1427](#) [G0649](#) [G3588](#) [G2424](#) [G3853](#) [G0846](#) [G3004](#)

Εἰς ὁδὸν ἐθνῶν μὴ ἀπέλθητε, καὶ εἰς πόλιν Σαμαριτῶν
~への 道に 異邦人の 行っては-ならない 行っては-ならない また ~に 町に サマリア人の
[G1519](#) [G3598](#) [G1484](#) [G3361](#) [G0565](#) [G2532](#) [G1519](#) [G4172](#) [G4541](#)

μὴ εἰσέλθητε;
入っては-ならない 入っては-ならない
[G3361](#) [G1525](#)

イエスはこの十二人をつかわすに当り、彼らに命じて言われた、「異邦人の道に行くな。またサマリア人の町にはいるな。

6 πορεύεσθε δὲ μᾶλλον πρὸς τὰ πρόβατα τὰ ἀπολωλότα οἴκου
行きなさい むしろ むしろ ~のもとへ (冠詞) 羊の-もとへ (冠詞) 失われた 家の
[G4198](#) [G1161](#) [G3123](#) [G4314](#) [G3588](#) [G4263](#) [G3588](#) [G0622](#) [G3624](#)

Ἰσραήλ.
イスラエルの
[G2474](#)

むしろ、イスラエルの家の失われた羊のところに行け。

7 πορευόμενοι δὲ κηρύσσετε, λέγοντες, ὅτι ἤγγικεν ἡ βασιλεία
行きながら そして 宣べ伝えなさい 言って (接続詞) 近づいた (冠詞) 御国が
[G4198](#) [G1161](#) [G2784](#) [G3004](#) [G3754](#) [G1448](#) [G3588](#) [G0932](#)

τῶν οὐρανῶν.
(冠詞) 天の
[G3588](#) [G3772](#)

行って、『天国が近づいた』と宣べ伝えよ。

8 ἀσθενοῦντας θεραπεύετε, νεκροὺς ἐγείρετε, λεπροὺς καθαρίζετε,
病んで-いる-者を いやしなさい 死人を よみがえらせなさい らい病人を 清めなさい
[G0770](#) [G2323](#) [G3498](#) [G1453](#) [G3015](#) [G2511](#)

δαίμονια ἐκβάλλετε; δωρεὰν ἐλάβετε, δωρεὰν δότε.
悪霊を 追い出しなさい ただで 受けた ただで 与えなさい
[G1140](#) [G1544](#) [G1432](#) [G2983](#) [G1432](#) [G1325](#)

病人をいやし、死人をよみがえらせ、らい病人をきよめ、悪霊を追い出せ。ただで受けたのだから、ただで与えるがよい。

9 Μὴ κτήσησθε χρυσόν, μηδὲ ἄργυρον, μηδὲ χαλκὸν εἰς
持っては-ならない 得ては-ならない 金を また 銀も また 銅貨も ~の中に
[G3361](#) [G2932](#) [G5557](#) [G3366](#) [G0696](#) [G3366](#) [G5475](#) [G1519](#)

τὰς ζώνας ὑμῶν,
(冠詞) 帯の-中に あなたがたの
[G3588](#) [G2223](#) [G4771](#)

財布の中に金、銀または銭を入れて行くな。

10 μὴ πύραν εἰς ὁδόν, μηδὲ δύο χιτῶνας, μηδὲ ὑποδήματα, μηδὲ
 また～ない 袋も ～のために 旅の また 二枚の 下着も また 履物も また
[G3361](#) [G4082](#) [G1519](#) [G3598](#) [G3366](#) [G1417](#) [G5509](#) [G3366](#) [G5266](#) [G3366](#)

ράβδον: ἄξιος γὰρ ὁ ἐργάτης τῆς τροφῆς αὐτοῦ.
 杖も ふさわしい-からである なぜなら (冠詞) 働き人は (冠詞) 食べ物に 彼の
[G4464](#) [G0514](#) [G1063](#) [G3588](#) [G2040](#) [G3588](#) [G5160](#) [G0846](#)

旅行のための袋も、二枚の下着も、くつも、つえも持って行くな。働き人がその食物を得るのは当然である。

11 εἰς ἣν δ' ἄν πόλιν ἢ κώμην εἰσέλθητε, ἐξετάσατε τίς
 ～に どの しかし (接続) 町に-でも または 村に-でも 入る-なら 尋ねなさい だれが
[G1519](#) [G3739](#) [G1161](#) [G0302](#) [G4172](#) [G2228](#) [G2968](#) [G1525](#) [G1833](#) [G5101](#)

ἐν αὐτῇ ἄξιός ἐστιν, κἀκεῖ μείνατε ἕως ἄν ἐξέλθητε.
 ～の中で そのの ふさわしい-かを であるか そこに 留まりなさい ～まで (接続) 出る-まで
[G1722](#) [G0846](#) [G0514](#) [G1510](#) [G2546](#) [G3306](#) [G2193](#) [G0302](#) [G1831](#)

どの町、どの村にはいっても、その中でだれがふさわしい人か、たずね出して、立ち去るまではその人のところにとどまっておれ。

12 εἰσερχόμενοι δὲ εἰς τὴν οἰκίαν, ἀσπάσασθε αὐτήν.
 入る-とき しかし ～に その 家に 挨拶しなさい それを
[G1525](#) [G1161](#) [G1519](#) [G3588](#) [G3614](#) [G0782](#) [G0846](#)

その家にはいったなら、平安を祈ってあげなさい。

13 καὶ ἐὰν μὲν ἦ ἡ οἰκία ἀξία, ἐλθάτω ἡ
 そして もし 一方では であるなら (冠詞) 家が ふさわしい-なら 来る-ように (冠詞)
[G2532](#) [G1437](#) [G3303](#) [G1510](#) [G3588](#) [G3614](#) [G0514](#) [G2064](#) [G3588](#)

εἰρήνη ὑμῶν ἐπ' αὐτήν; ἐὰν δὲ μὴ ἦ ἀξία,
 平安が あなたがたの ～の上に それの-上に もし しかし ～でない であるなら ふさわしく-ない
[G1515](#) [G4771](#) [G1909](#) [G0846](#) [G1437](#) [G1161](#) [G3361](#) [G1510](#) [G0514](#)

ἡ εἰρήνη ὑμῶν πρὸς ὑμᾶς ἐπιστραφήτω.
 (冠詞) 平安が あなたがたの ～のもとに あなたがたの-もとに 戻る-ように
[G3588](#) [G1515](#) [G4771](#) [G4314](#) [G4771](#) [G1994](#)

もし平安を受けるにふさわしい家であれば、あなたがたの祈る平安はその家に来るであろう。もしふさわしくなければ、その平安はあなたがたに帰って来るであろう。

14 καὶ ὅς ἄν μὴ δέξηται ὑμᾶς, μηδὲ ἀκούση
 そして だれでも (接続) ～ない 受け入れない-なら あなたがたを また 聞かない-なら
[G2532](#) [G3739](#) [G0302](#) [G3361](#) [G1209](#) [G4771](#) [G3366](#) [G0191](#)

τοὺς λόγους ὑμῶν, ἐξερχόμενοι ἔξω τῆς οἰκίας ἢ τῆς πόλεως
 (冠詞) 言葉を あなたがたの 出る-とき 外に その 家から または その 町から
[G3588](#) [G3056](#) [G4771](#) [G1831](#) [G1854](#) [G3588](#) [G3614](#) [G2228](#) [G3588](#) [G4172](#)

ἐκεῖνης, ἐκτινάξατε τὸν κονιορτὸν τῶν ποδῶν ὑμῶν.
 その 払い-落としなさい (冠詞) ちりを (冠詞) 足の あなたがたの
[G1565](#) [G1621](#) [G3588](#) [G2868](#) [G3588](#) [G4228](#) [G4771](#)

もしあなたがたを迎えもせず、またあなたがたの言葉を聞きもしない人があれば、その家や町を立ち去る時に、足のちりを払い落としなさい。

15 ἀμὴν λέγω ὑμῖν, ἀνεκτότερον ἔσται γῆ Σοδόμων καὶ
 まことに 言います あなたがたに まだ-耐えやすい-であろう であろう 地に ソドムの また
[G0281](#) [G3004](#) [G4771](#) [G0414](#) [G1510](#) [G1093](#) [G4670](#) [G2532](#)

Γομόρρων ἐν ἡμέρᾳ κρίσεως, ἢ τῆ πόλει ἐκείνῃ.
 ゴモラの ~に 裁きの-日に 裁きの ~よりは その 町に その
[G1116](#) [G1722](#) [G2250](#) [G2920](#) [G2228](#) [G3588](#) [G4172](#) [G1565](#)

あなたがたによく言うておく。さばきの日には、ソドム、ゴモラの地の方が、その町よりは耐えやすいであろう。

16 Ἴδοὺ, ἐγὼ ἀποστέλλω ὑμᾶς ὡς πρόβατα ἐν μέσῳ λύκων:
 見よ わたしは 遣わす あなたがたを ~のように 羊の-ように ~の中に 中に 狼の
[G3708](#) [G1473](#) [G0649](#) [G4771](#) [G5613](#) [G4263](#) [G1722](#) [G3319](#) [G3074](#)

γίνεσθε οὖν φρόνιμοι ὡς οἱ ὄφεις, καὶ ἀκέραιοι ὡς
 なりなさい だから 賢い-者に ~のように (冠詞) 蛇の-ように そして 素直な-者に ~のように
[G1096](#) [G3767](#) [G5429](#) [G5613](#) [G3588](#) [G3789](#) [G2532](#) [G0185](#) [G5613](#)

αἱ περιστεραί.
 (冠詞) 鳩の-ように
[G3588](#) [G4058](#)

わたしがあなたがたをつかすのは、羊をおおかみの中に送るようなものである。だから、へびのように賢く、はどのように素直であれ。

17 Προσέχετε δὲ ἀπὸ τῶν ἀνθρώπων; παραδώσουσιν γὰρ
 用心しなさい しかし ~から (冠詞) 人々に-対して 引き渡す-であろう-からである なぜなら
[G4337](#) [G1161](#) [G0575](#) [G3588](#) [G0444](#) [G3860](#) [G1063](#)

ὑμᾶς εἰς συνέδρια, καὶ ἐν ταῖς συναγωγαῖς αὐτῶν, μαστιγώσουσιν
 あなたがたを ~に 議会に また ~で (冠詞) 会堂で 彼らの むち打つ-であろう
[G4771](#) [G1519](#) [G4892](#) [G2532](#) [G1722](#) [G3588](#) [G4864](#) [G0846](#) [G3146](#)

ὑμᾶς:
 あなたがたを
[G4771](#)

人々に注意しなさい。彼らはあなたがたを衆議所に引き渡し、会堂でむち打つであろう。

18 καὶ ἐπὶ ἡγεμόνας δὲ, καὶ βασιλεῖς ἀχθήσεσθε, ἕνεκεν
 また ~の前に 総督たちの そして また 王たちの-前に 引かれる-であろう ~のゆえに
[G2532](#) [G1909](#) [G2232](#) [G1161](#) [G2532](#) [G0935](#) [G0071](#) [G1752](#)

ἐμοῦ, εἰς μαρτύριον αὐτοῖς καὶ τοῖς ἔθνεσιν.
 わたしの ~として あかしの-ために 彼らへの また (冠詞) 異邦人への
[G1473](#) [G1519](#) [G3142](#) [G0846](#) [G2532](#) [G3588](#) [G1484](#)

またあなたがたは、わたしのために長官たちや王たちの前に引き出されるであろう。それは、彼らと異邦人とに対してあかしをするためである。

19 ὅταν δὲ παραδῶσιν ὑμᾶς, μὴ μεριμνήσητε
 ~の時 しかし 引き渡された-とき あなたがたを 思い-悩んでは-ならない 思い-悩んでは-ならない
[G3752](#) [G1161](#) [G3860](#) [G4771](#) [G3361](#) [G3309](#)

πῶς ἢ τί λαλήσητε: δοθήσεται γὰρ ὑμῖν ἐν
 どのように または 何を 話す-かを 与えられる-からである なぜなら あなたがたに ~に
[G4459](#) [G2228](#) [G5101](#) [G2980](#) [G1325](#) [G1063](#) [G4771](#) [G1722](#)

ἐκείνῃ τῆ ὥρᾳ τί λαλήσητε.
 その その 時に 何を 話す-かが
[G1565](#) [G3588](#) [G5610](#) [G5101](#) [G2980](#)

彼らがあなたがたを引き渡したとき、何をどう言おうかと心配しないがよい。言うべきことは、その時に授けられるからである。

20 οὐ ~ではない-からである [G3756](#) γὰρ なぜなら [G1063](#) ὑμεῖς あなたがたが [G4771](#) ἐστε ではない [G1510](#) οἱ (冠詞) [G3588](#) λαλοῦντες, 話す-者は [G2980](#) ἀλλὰ そうでなく [G0235](#)

τὸ (冠詞) [G3588](#) Πνεῦμα 御霊が [G4151](#) τοῦ (冠詞) [G3588](#) Πατρὸς 父の [G3962](#) ὑμῶν あなたがたの [G4771](#) τὸ (冠詞) [G3588](#) λαλοῦν 話す-のである [G2980](#) ἐν ~において [G1722](#)

ὑμῖν.
あなたがたの-中で
[G4771](#)

語る者は、あなたがたではなく、あなたがたの中であって語る父の霊である。

21 παραδώσει 引き渡す-であろう [G3860](#) δὲ しかし [G1161](#) ἀδελφός, 兄弟が [G0080](#) ἀδελφὸν 兄弟を [G0080](#) εἰς ~に [G1519](#) θάνατον; 死に [G2288](#) καὶ また [G2532](#) πατὴρ, 父が [G3962](#) τέκνον. 子を [G5043](#)

καὶ また [G2532](#) ἐπαναστήσονται 立ち上がる-であろう [G1881](#) τέκνα 子どもたちが [G5043](#) ἐπὶ ~に対して [G1909](#) γονεῖς, 親に [G1118](#) καὶ そして [G2532](#) θανατώσουσιν 殺す-であろう [G2289](#) αὐτούς, 彼らを [G0846](#)

兄弟は兄弟を、父は子を殺すために渡し、また子は親に逆らって立ち、彼らを殺させるであろう。

22 καὶ そして [G2532](#) ἔσεσθε ある-であろう [G1510](#) μισούμενοι 憐まれる-者と [G3404](#) ὑπὸ ~によって [G5259](#) πάντων すべての-者に [G3956](#) διὰ ~のゆえに [G1223](#) τὸ (冠詞) [G3588](#) ὄνομα 名の [G3686](#)

μου; わたしの [G1473](#) ὁ (冠詞) [G3588](#) δὲ しかし [G1161](#) ὑπομείνας 耐え-忍ぶ-者は [G5278](#) εἰς ~まで [G1519](#) τέλος, 終わりまで [G5056](#) οὗτος この-者は [G3778](#) σωθήσεται. 救われる-であろう [G4982](#)

またあなたがたは、わたしの名のゆえにすべての人に憎まれるであろう。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われる。

23 ὅταν ~の時 [G3752](#) δὲ しかし [G1161](#) διώκωσιν 迫害する-なら [G1377](#) ὑμᾶς あなたがたを [G4771](#) ἐν ~で [G1722](#) τῇ その [G3588](#) πόλει 町で [G4172](#) ταύτη, この [G3778](#) φεύγετε 逃げなさい [G5343](#) εἰς ~に [G1519](#)

τὴν その [G3588](#) ἐτέραν 次-町へ [G2087](#) ἀμὴν まことに [G0281](#) γὰρ なぜなら [G1063](#) λέγω 言います [G3004](#) ὑμῖν, あなたがたに [G4771](#) οὐ 決して [G3756](#) μὴ ~ない [G3361](#)

τελέσητε 巡り-終わらない-であろう [G5055](#) τὰς (冠詞) [G3588](#) πόλεις 町々を [G4172](#) τοῦ (冠詞) [G3588](#) Ἰσραὴλ, イスラエルの [G2474](#) ἕως ~までに [G2193](#) «ἀν» (接続) [G0302](#) ἔλθῃ 来る [G2064](#)

ὁ (冠詞) [G3588](#) Υἱὸς 人の-子が [G5207](#) τοῦ (冠詞) [G3588](#) ἀνθρώπου. 人の [G0444](#)

一つの町で迫害されたなら、他の町へ逃げなさい。よく言うておく。あなたがたがイスラエルの町々を回り終らないうちに、人の子は来るであろう。

24 Οὐκ ἔστιν μαθητῆς ὑπὲρ τὸν διδάσκαλον, οὐδὲ δοῦλος
 ~ではない ではない 弟子は ~より-上ではない (冠詞) 先生より また~ない しもべも
[G3756](#) [G1510](#) [G3101](#) [G5228](#) [G3588](#) [G1320](#) [G3761](#) [G1401](#)

ὕπὲρ τὸν κύριον αὐτοῦ.
 ~より-上ではない (冠詞) 主人より 彼の
[G5228](#) [G3588](#) [G2962](#) [G0846](#)

弟子はその師以上のものではなく、僕はその主人以上の者ではない。

25 ἄρκετὸν τῷ μαθητῇ ἵνα γένηται ὡς ὁ διδάσκαλος
 十分である (冠詞) 弟子にとって ~ならば なる-ことが ~のように (冠詞) 先生の-ように
[G0713](#) [G3588](#) [G3101](#) [G2443](#) [G1096](#) [G5613](#) [G3588](#) [G1320](#)

αὐτοῦ, καὶ ὁ δοῦλος ὡς ὁ κύριος αὐτοῦ. εἰ τὸν
 彼の また (冠詞) しもべが ~のように (冠詞) 主人の-ように 彼の もし (冠詞)
[G0846](#) [G2532](#) [G3588](#) [G1401](#) [G5613](#) [G3588](#) [G2962](#) [G0846](#) [G1487](#) [G3588](#)

οἰκοδεσπότην Βεελζεβούλ ἐπεκάλεσαν, πόσω μᾶλλον τοὺς οἰκιακοὺς αὐτοῦ?
 家の-主人を ベルゼブルと 呼んだ-なら まして なお-さら (冠詞) 家の-者たちを 彼の
[G3617](#) [G0954](#) [G1941](#) [G4214](#) [G3123](#) [G3588](#) [G3615](#) [G0846](#)

弟子がその師のようであり、僕がその主人のようであれば、それで十分である。もし家の主人がベルゼブルと言われるならば、その家の者どもはなおさら、どんなにか悪く言われることであろう。

26 μὴ οὐὶν φοβηθῆτε αὐτούς; οὐδὲν γάρ ἐστιν κεκαλυμμένον
 それゆえ 決して 恐れては-ならない 彼らを 何も-ない なぜなら ない 覆われた-もの-で
[G3361](#) [G3767](#) [G5399](#) [G0846](#) [G3762](#) [G1063](#) [G1510](#) [G2572](#)

ὃ οὐκ ἀποκαλυφθήσεται, καὶ κρυπτόν ὃ οὐ
 それが ない 明らかに-されない-もの-は また 隠された-もの-で それが ない
[G3739](#) [G3756](#) [G0601](#) [G2532](#) [G2927](#) [G3739](#) [G3756](#)

γνωσθήσεται.
 知られない-もの-は
[G1097](#)

だから彼らを恐れるな。おおわれたもので、現れてこないものではなく、隠れているもので、知られてこないものはない。

27 ὁ λέγω ὑμῖν ἐν τῇ σκοτίᾳ, εἶπατε ἐν τῷ φωτί;
 わたしが 言う-ことを あなたがたに の中で その 闇 言いなさい の中で その 光
[G3739](#) [G3004](#) [G4771](#) [G1722](#) [G3588](#) [G4653](#) [G3004](#) [G1722](#) [G3588](#) [G5457](#)

καὶ ὁ εἰς τὸ οὖς ἀκούετε, κηρύξατε ἐπὶ τῶν
 また あなたがたが に向かって その 耳 聞く-ことを 宣べ伝えなさい の上で その
[G2532](#) [G3739](#) [G1519](#) [G3588](#) [G3775](#) [G0191](#) [G2784](#) [G1909](#) [G3588](#)

δωμάτων.
 屋上
[G1430](#)

わたしが暗やみであなたがたに話すことを、明るみで言え。耳にささやかれたことを、屋根の上で言いひろめよ。

28 καὶ μὴ φοβεῖσθε ἀπὸ τῶν ἀποκτενόντων τὸ σῶμα, τὴν δὲ
 そして ない 恐れるな から その 殺す-者たちを その 体を しかし-その また
[G2532](#) [G3361](#) [G5399](#) [G0575](#) [G3588](#) [G0615](#) [G3588](#) [G4983](#) [G3588](#) [G1161](#)

ψυχὴν μὴ δυναμένων ἀποκτεῖναι; φοβεῖσθε δὲ μᾶλλον τὸν
 魂を ない 殺す-ことの-できない-者たちを 殺す-ことが 恐れなさい むしろ もっと その
[G5590](#) [G3361](#) [G1410](#) [G0615](#) [G5399](#) [G1161](#) [G3123](#) [G3588](#)

δυναμένον καὶ ψυχὴν καὶ σῶμα ἀπολέσαι ἐν γεένῃ.
 できる-方を も 魂 も 体 滅ぼす-ことが の中で ゲヘナ
[G1410](#) [G2532](#) [G5590](#) [G2532](#) [G4983](#) [G0622](#) [G1722](#) [G1067](#)

また、からだを殺しても、魂を殺すことのできない者どもを恐れるな。むしろ、からだも魂も地獄で滅ぼす力のあるかたを恐れなさい。

29 οὐχὶ δύο στρουθία ἄσαριου πωλεῖται? καὶ ἐν ἑξ
 ではないか 二羽の 雀は -アサリオンで 売られている しかし 一羽-も それら-の
[G3780](#) [G1417](#) [G4765](#) [G0787](#) [G4453](#) [G2532](#) [G1520](#) [G1537](#)

αὐτῶν οὐ πεσεῖται ἐπὶ τὴν γῆν, ἄνευ τοῦ Πατρὸς ὑμῶν.
 その-うち ない 落ちない の上に その 地に なしに その 父の あなたがたの
[G0846](#) [G3756](#) [G4098](#) [G1909](#) [G3588](#) [G1093](#) [G0427](#) [G3588](#) [G3962](#) [G4771](#)

二羽のすずめはアサリオンで売られているではないか。しかもあなたがたの父の許しがなければ、その一羽も地に落ちることはない。

30 ὑμῶν δὲ καὶ αἱ τρίχες τῆς κεφαλῆς πᾶσαι ἠριθμημένοι εἰσίν.
 あなたがたの しかし も その 髪の毛は その 頭の すべて 数えられている のである
[G4771](#) [G1161](#) [G2532](#) [G3588](#) [G2359](#) [G3588](#) [G2776](#) [G3956](#) [G0705](#) [G1510](#)

またあなたがたの頭の毛までも、みな数えられている。

31 μὴ οὐὶ φοβεῖσθε; πολλῶν στρουθίων διαφέρετε ὑμεῖς.
 それゆえ 決して 恐れるな 多くの 雀よりも 優れている あなたがたは
[G3361](#) [G3767](#) [G5399](#) [G4183](#) [G4765](#) [G1308](#) [G4771](#)

それだから、恐れることはない。あなたがたは多くのすずめよりも、まさった者である。

32 Πᾶς οὐὶ ὅστις ὁμολογήσει ἐν ἐμοὶ ἔμπροσθεν τῶν ἀνθρώπων,
 それゆえ すべて だれでも 告白する-者は の中に わたし の前で その 人々
[G3956](#) [G3767](#) [G3748](#) [G3670](#) [G1722](#) [G1473](#) [G1715](#) [G3588](#) [G0444](#)

ὁμολογήσω καγὼ ἐν αὐτῷ ἔμπροσθεν τοῦ Πατρὸς μου τοῦ
 告白する わたし-も-また の中に その-者を の前で その 父 わたしの その
[G3670](#) [G2504](#) [G1722](#) [G0846](#) [G1715](#) [G3588](#) [G3962](#) [G1473](#) [G3588](#)

ἐν τοῖς οὐρανοῖς.
 の その 天にいます
[G1722](#) [G3588](#) [G3772](#)

だから人の前でわたしを受けいれる者を、わたしもまた、天にいますわたしの父の前で受けいれるであろう。

33 ὅστις δ' ἂν ἀρνήσῃ με ἔμπροσθεν τῶν ἀνθρώπων, ἀρνήσομαι
 だれでも しかし もし 否む-なら わたしを の前で その 人々 否む
[G3748](#) [G1161](#) [G0302](#) [G0720](#) [G1473](#) [G1715](#) [G3588](#) [G0444](#) [G0720](#)

καγὼ αὐτὸν ἔμπροσθεν τοῦ Πατρὸς μου τοῦ ἐν τοῖς οὐρανοῖς.
 わたし-も-また その-者を の前で その 父 わたしの その の その 天にいます
[G2504](#) [G0846](#) [G1715](#) [G3588](#) [G3962](#) [G1473](#) [G3588](#) [G1722](#) [G3588](#) [G3772](#)

しかし、人の前でわたしを拒む者を、わたしも天にいますわたしの父の前で拒むであろう。

34 Μὴ νομίσητε ὅτι ἦλθον βαλεῖν εἰρήνην ἐπὶ τὴν
 ない 思っては-ならない と わたしが-来たのは もたらず-ために 平和を の上に その
[G3361](#) [G3543](#) [G3754](#) [G2064](#) [G0906](#) [G1515](#) [G1909](#) [G3588](#)

γῆν; οὐκ ἦλθον βαλεῖν εἰρήνην, ἀλλὰ μάχαιραν.
 地に ではない わたしが-来たのは もたらず-ために 平和を そうではなく 剣を
[G1093](#) [G3756](#) [G2064](#) [G0906](#) [G1515](#) [G0235](#) [G3162](#)

地上に平和をもたらすために、わたしが来たと思うな。平和ではなく、つるぎを投げ込むために来たのである。

35 ἦλθον γὰρ διχάσαι ἄνθρωπον κατὰ τοῦ πατρὸς αὐτοῦ, καὶ
 来たのだ なぜなら 分ける-ために 人を に逆らって その 父 その人の また
[G2064](#) [G1063](#) [G1369](#) [G0444](#) [G2596](#) [G3588](#) [G3962](#) [G0846](#) [G2532](#)

θυγατέρα κατὰ τῆς μητρὸς αὐτῆς, καὶ νύμφην κατὰ τῆς πενθερᾶς
 娘を に逆らって その 母 その人の また 嫁を に逆らって その 姑
[G2364](#) [G2596](#) [G3588](#) [G3384](#) [G0846](#) [G2532](#) [G3565](#) [G2596](#) [G3588](#) [G3994](#)

αὐτῆς.
 その人の
[G0846](#)

わたしが来たのは、人をその父と、娘をその母と、嫁をそのしゅうとめと仲たがいさせるためである。

36 καὶ ἐχθροὶ τοῦ ἀνθρώπου οἱ οἰκιακοὶ αὐτοῦ.
 そして 敵は その 人の その 家の-者たちである その人の
[G2532](#) [G2190](#) [G3588](#) [G0444](#) [G3588](#) [G3615](#) [G0846](#)

そして家の者が、その人の敵となるであろう。

37 Ὁ φιλῶν πατέρα ἢ μητέρα ὑπὲρ ἐμὲ, οὐκ ἔστιν μου
 その 愛する-者が 父を または 母を 以上に わたし ない である わたしに
[G3588](#) [G5368](#) [G3962](#) [G2228](#) [G3384](#) [G5228](#) [G1473](#) [G3756](#) [G1510](#) [G1473](#)

ἄξιος; καὶ ὁ φιλῶν υἱὸν ἢ θυγατέρα ὑπὲρ ἐμὲ, οὐκ ἔστιν
 ふさわしい また その 愛する-者が 息子を または 娘を 以上に わたし ない である
[G0514](#) [G2532](#) [G3588](#) [G5368](#) [G5207](#) [G2228](#) [G2364](#) [G5228](#) [G1473](#) [G3756](#) [G1510](#)

μου ἄξιος.
 わたしに ふさわしい
[G1473](#) [G0514](#)

わたしよりも父または母を愛する者は、わたしにふさわしくない。わたしよりもむすこや娘を愛する者は、わたしにふさわしくない。

38 καὶ ὃς οὐ λαμβάνει τὸν σταυρὸν αὐτοῦ καὶ ἀκολουθεῖ ὀπίσω
 そして その-者が ない 取る その 十字架を その人の そして 従う 後に
[G2532](#) [G3739](#) [G3756](#) [G2983](#) [G3588](#) [G4716](#) [G0846](#) [G2532](#) [G0190](#) [G3694](#)

μου, οὐκ ἔστιν μου ἄξιος.
 わたしの ない である わたしに ふさわしい
[G1473](#) [G3756](#) [G1510](#) [G1473](#) [G0514](#)

また自分の十字架をとってわたしに従ってこない者はわたしにふさわしくない。

39 ὁ εὐρῶν τὴν ψυχὴν αὐτοῦ ἀπολέσει αὐτήν; καὶ ὁ ἀπολέσας
 その 見いだした-者は その 命を その人の 失う それを そして その 失った-者は
[G3588](#) [G2147](#) [G3588](#) [G5590](#) [G0846](#) [G0622](#) [G0846](#) [G2532](#) [G3588](#) [G0622](#)

τὴν ψυχὴν αὐτοῦ ἕνεκεν ἐμοῦ εὐρήσει αὐτήν.
 その 命を その人の ために わたしの 見いだす それを
[G3588](#) [G5590](#) [G0846](#) [G1752](#) [G1473](#) [G2147](#) [G0846](#)

自分の命を得ている者はそれを失い、わたしのために自分の命を失っている者は、それを得るであろう。

40 Ὁ δεχόμενος ὑμᾶς, ἐμὲ δέχεται; καὶ ὁ ἐμὲ
その 受け入れる-者は あなたがたを わたしを 受け入れる そして その わたしを
[G3588](#) [G1209](#) [G4771](#) [G1473](#) [G1209](#) [G2532](#) [G3588](#) [G1473](#)

δεχόμενος, δέχεται τὸν ἀποστείλαντά με.
受け入れる-者は 受け入れる その 遣わした-方を わたしを
[G1209](#) [G1209](#) [G3588](#) [G0649](#) [G1473](#)

あなたがたを受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。わたしを受け入れる者は、わたしをおつかわしになったかたを受け入れるのである。

41 ὁ δεχόμενος προφήτην εἰς ὄνομα προφήτου, μισθὸν προφήτου
その 受け入れる-者は 預言者を の-名に-おいて 名 預言者の 報いを 預言者の
[G3588](#) [G1209](#) [G4396](#) [G1519](#) [G3686](#) [G4396](#) [G3408](#) [G4396](#)

λήμψεται; καὶ ὁ δεχόμενος δίκαιον εἰς ὄνομα δικαίου, μισθὸν
受ける そして その 受け入れる-者は 義人を の-名に-おいて 名 義人の 報いを
[G2983](#) [G2532](#) [G3588](#) [G1209](#) [G1342](#) [G1519](#) [G3686](#) [G1342](#) [G3408](#)

δικαίου λήμψεται.
義人の 受ける
[G1342](#) [G2983](#)

預言者の名のゆえに預言者を受け入れる者は、預言者の報いを受け、義人の名のゆえに義人を受け入れる者は、義人の報いを受けるであろう。

42 καὶ ὃς ἂν ποτίσῃ ἓνα τῶν μικρῶν τούτων ποτήριον
そして その-者が もし 飲ませる-なら 一人に その 小さい-者たちの これらの 一杯の
[G2532](#) [G3739](#) [G0302](#) [G4222](#) [G1520](#) [G3588](#) [G3398](#) [G3778](#) [G4221](#)

ψυχροῦ, μόνον εἰς ὄνομα μαθητοῦ, ἀμὴν λέγω ὑμῖν, οὐ
冷たい-水を ただ の-名に-おいて 名 弟子の まことに 言う あなたがたに 決して
[G5593](#) [G3440](#) [G1519](#) [G3686](#) [G3101](#) [G0281](#) [G3004](#) [G4771](#) [G3756](#)

μὴ ἀπολέσῃ τὸν μισθὸν αὐτοῦ.
ない 失わない その 報いを その人の
[G3361](#) [G0622](#) [G3588](#) [G3408](#) [G0846](#)

わたしの弟子であるという名のゆえに、この小さい者のひとりに冷たい水一杯でも飲ませてくれる者は、よく言うておくが、決してその報いからもれることはない」。